

グループミッション

「世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する

“Global Kawasaki”

川崎重工グループは、世界を取り巻く社会課題に対し、多様で高度な技術力を駆使して課題解決に貢献することにより、新たな価値を創造し続けます。

グローバルな社会課題

川崎重工グループの経営資源

事業活動と戦略

主なアウトプット

創出する社会価値

地球温暖化

脱炭素化

エネルギー問題

人とモノの移動の変化への対応

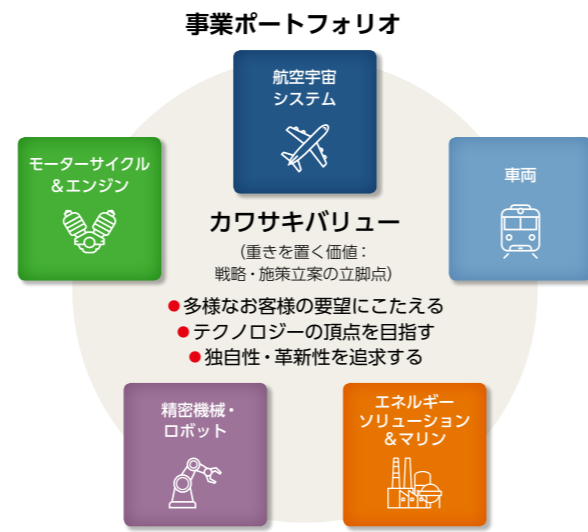
パンデミック対策

医師の不足、負担増

リモートワークを含む多様な働き方の増大

(2020年度)

財務資本	
●投下資本	10,586億円
製造資本	
●設備投資	556億円
●生産拠点	
日本	17か所
海外	21か所
知的資本	
●120年を超える経験・ノウハウ	
●広汎な領域における高度な技術力	
●研究開発費	449億円
人的資本	
●最高品質を追求する技術集団	
●従業員数	36,691人
社会/関係資本	
●Kawasaki ブランド	
●長年蓄積された取引先との信頼	
自然資本(単体)	
●エネルギー使用量(熱量換算合計)	5,893TJ
●原材料(鋼材)素材としての購入量	11万t



価値創造のドライバー

グループビジョン2030

- 成長性の追求⇒成長分野・新規事業への投資
- 安定性・シナジーの追求⇒コングロマリット・プレミアムの実現
- 社会課題の解決に対するソリューションを通じてSDGsの達成に貢献
- 財務目標 売上目標: 売上年平均成長率5%
営業利益率5~8%
税引前ROIC: 資本コスト+3%以上
- 施策: ○ビジネスモデルの見直し・新事業開発
○DXの推進
○サイバーセキュリティの強化
○人事制度改革
○オープンイノベーションの推進

事業活動を支える基盤(ESGへの取り組み)

●コーポレート・ガバナンス	●サプライチェーンマネジメント
●製品責任・安全	●人財の確保と定着
●コンプライアンス	●ビジネスと人権
●腐敗防止	●エネルギー・環境(バリューチェーン)

主な製品

- 航空宇宙システム: 航空機/航空機用エンジン
- 車両事業: 鉄道車両/除雪機械
- エネルギーソリューション&マリン: エネルギー関連機器・システム/船用推進関連機器・システム/産業機械/環境装置/低温貯槽装置/水素関連設備/破砕機/船舶
- 精密機械・ロボット: 油圧機器/産業用ロボット
- モーターサイクル&エンジン: 二輪車/オフロード四輪車(SxS・ATV)/パーソナルウォータークラフト(「ジェットスキー」)/汎用ガソリンエンジン

(2020年度)

財務資本	
●営業キャッシュフロー	346億円
●営業利益率	-0.3%
●税引前ROIC*	-1.0%
*税引前ROIC=EBIT(税引前利益+支払利息)÷投下資本(有利子負債+自己資本)	
製造資本	
主なトップシェア製品	
●半導体向けロボット世界シェア*1	No.1
●非常用ガスタービン国内シェア*2	No.1
●モーターサイクル251cc以上国内シェア*3	No.1
*1: SEMI、富士経済のデータを基に当社調べ *2: 当社調べ *3: 国内登録データ	
知的資本・人的資本	
●クラリベイト・アナリティクス社の「Top100グローバル・イノベーター*」を6年連続で受賞	
*保有する特許データを基に知的財産・特許動向を分析し、世界の革新企業・機関のトップ100を選出するもの。	
社会/関係資本	
●各社との連携による水素プロジェクトの推進	
●機関投資家とのIRミーティング	281件
自然資本(単体)	
●事業活動によるCO ₂ 排出量	24.9万t-CO ₂
●製品貢献によるCO ₂ 排出量の削減効果	2,404.7万t-CO ₂
●Kawasakiグリーン製品登録製品数	61件
売上高	2,556億円

安全安心リモート社会

近未来モビリティ

エネルギー・環境ソリューション

外部環境とリスク

産業構造の変化

- 技術革新
- AI、IoTの進化

気候変動

- 地球温暖化
- 大規模災害

為替の変動

- 海外売上高比率が高く収益に影響

経済動向

- 設備投資による影響
- パンデミックの影響
- 米中貿易摩擦